資料２

世界自然遺産推薦に向けた取組の進め方について

平成 25 年2月　ユネスコ世界遺産センターへ暫定一覧表（暫定リスト）記載のための必要書類提出

↓

平成 25 年3月　ユネスコ世界遺産センターから「世界遺産たりうる具体的な地域とその位置に関わる詳細な情報」についての照会

↓

科学委員会設置（平成 25 年度は5月、8月、12 月に開催）
価値の考え方・推薦候補区域に関する検討（島レベルで抽出）
【事務局：環境省、林野庁、鹿児島県、沖縄県】

↓

平成 26 年1月　ユネスコ世界遺産センターからの照会へ回答

↓

平成 27 年 11 月　ユネスコ世界遺産センターから、より正確な案件名とすべき指摘

↓

平成 28 年2月　資産名を四島併記として暫定一覧表（暫定リスト）記載のための必要書類を再提出

↓

【国内作業】

○保護担保措置の確立

○推薦書の検討及び作成

・平成 28 年 11 月　第1回科学委員会の開催
（推薦書（暫定版）に関する助言）

→ 平成 28 年 11 月末
ユネスコ世界遺産センターへ推薦書暫定版提出

○管理計画の検討及び作成

・平成 28 年 11 月　奄美大島、徳之島、沖縄島北部、西表島の各地域部会の開催
（地域別の行動計画（案）の検討）

・平成 28 年 12 月　奄美 WG 及び沖縄 WG の開催
（管理計画（案）に関する助言）

※国内作業は、平成 29 年2月1日が期限であるユネスコ世界遺産センターへの推薦書提出まで継続

↓

平成 28 年 12 月 27 日　地域連絡会議の開催（鹿児島市内）

↓

平成 29 年1月　関係省庁連絡会議・閣議了解（予定）

↓

平成 29 年2月1日まで　ユネスコ世界遺産センターへの推薦書提出

↓

平成 29 年夏頃　世界遺産委員会諮問機関（IUCN）による現地調査

↓

IUCN からの追加情報要請・推薦国からの回答

↓

平成 30 年夏頃　世界遺産委員会における審議（記載の可否決定）